

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	(Aユニット) 冬期及びコロナ禍によりホーム内での生活が中心となり生活の質が低下している状況	コロナの状況にもよるが、ホーム以外での生活の場の拡充	近場への散歩 ホーム等でのソーシャルディスタンスを保った会食(普段と違った環境での食事等)	5ヶ月
2	47	(Bユニット) 利用者の加齢に伴い運動機能の低下や楽しみ事が少なくなっている。	今は、コロナの為できる幅が制限されているので日常生活のできる範囲での作業等を行ってもらう。	新聞たたみ、折り紙、風船バレーボール	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。